

## 「おおさか環境賞 準大賞」を受賞

カナデビア株式会社は、このほど、ごみ焼却処理施設見学を対象とした当社の支援活動「いきいき活動」を対象とした遠隔施設見学と分別ゲーム『Hokasu』\*の実施による分別学習が、大阪府の令和7年度「おおさか環境賞」の準大賞を受賞しましたので、お知らせします。



【受賞した環境事業本部・インキュベーション推進部の山下さん（右）、宇志呂さん（中央）、林さん（左）と、大阪府広報担当副知事の「もずやん」】

「おおさか環境賞」とは、環境への負担の低減や自然との共生、快適環境の創造など、自主的かつ積極的に他の模範となる環境の保全または創造に資する活動に取り組んでいる個人、団体、事業者の活動を奨励し、豊かな環境づくりに向けた行動の輪を広げることを目的に大阪府が実施している表彰事業です。

当社は、SDGs や地域への貢献などを目的として、小学校などへのごみ焼却処理施設を題材とした「出前授業」を実施し、環境問題を身近に感じてもらう活動に取り組んできました。

今回受賞した活動では、さらに一步踏み込んだ活動として、自社が保有するごみ焼却処理施設と教室をオンラインでつなげ、ごみ分別の理由について学習を実施しました。また、学習だけではなく、オリジナルゲームを用いたごみ分別の体験も組み合わせることで、3R（Reduce, Reuse,

Recycle) 活動にとって重要な最初の一步である分別に焦点を当てた環境教育活動を行いました。

文部科学省の小学校学習指導要領では、4年生の社会科授業の一環として、廃棄物処理について学習することが定められており、ごみ焼却処理施設や下水処理場などを見学する機会が設けられています。

当社は、子どもたちが自らの行動や日常生活について主体的に考えるきっかけを提供したいとの思いから、単なる施設見学にとどまらず、オンライン授業やオリジナルゲーム体験を提供しています。さらに、実施後の効果測定データの蓄積や、教育効果の検証・向上にも取り組んでいます。

当社は、環境保全に貢献する製品・技術の提供に加え、次世代を担う子どもたちに環境問題を身近に感じてもらう取り組みなど、さまざまな側面から持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※Hokasu：ごみ分別ボードゲームで、児童を対象としたごみ分別に関する学習教材。ごみ分別についてだけでなく、焼却処理で発生する灰を埋め立てる最終処分場が有限であることから、ごみ減量・減容化の重要性も遊びながら学習できる。

詳細は当社「Kanadevia Technical Review」にて解説しています。

リンク：[https://www.kanadevia.com/hitz-tech/pdf/2024r37\\_1\\_09.pdf](https://www.kanadevia.com/hitz-tech/pdf/2024r37_1_09.pdf)

(終)